

庄垣内正弘先生 著作目録

I 著書

1982 年

1. 『ウイグル語・ウイグル語文献の研究 I – 『観音経に相応しい三篇の Avadāna』及び『阿含経』について』 神戸市外国語大学外国学研究所（研究叢書第 12 冊）
A5 判 215p.+14pls.

1985 年

2. 『ウイグル語・ウイグル語文献の研究 II – 『観音経に相応しい三篇の Avadāna』及び『阿含経』について<語彙篇>』 神戸市外国語大学外国学研究所（研究叢書第 15 冊） A5 判 148p.

1989 年

3. 『ウイグル語・ウイグル語文献の研究 III – ウイグル語訳・安慧造『阿毘達磨俱舍論実義疏』<テキスト> 1』 神戸市外国語大学外国学研究所（研究叢書第 19 冊）
A5 判 177p.

1990 年

4. 『ウイグル語・ウイグル語文献の研究 IV – ウイグル語訳・安慧造『阿毘達磨俱舍論実義疏』<テキスト> 2』 神戸市外国語大学外国学研究所（外国学研究 XX）
A5 判 131p.

1991 年

5. 『古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究』 I 松香堂 B5 判 344p.
(1990 年度文部省研究成果刊行助成出版)

1993 年

6. 『古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究』 II 松香堂 B5 判 414p.
(1992 年度文部省研究成果刊行助成出版)
7. 『古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究』 III 松香堂 B5 判 35p.+466pls.
(1993 年度文部省研究成果刊行助成出版)

1995 年

8. 『中央アジアの古代語を考えるーシルクロードの文書から』 (榎オムロン・京都通信社 (オムロン京都文化フォーラム No.41) 新書判 40p.

1998 年

9. 『ウイグル文 Daśakarmapathāvadānamālā の研究ーサンクトペテルブルグ所蔵「十業道物語」ー』 (M. Shōgaito, L. Tugusheva, S. Fujishiro 共著) 松香堂 B5 判 293p.+84pls. (1997 年度文部省研究成果刊行助成出版)

2002 年

10. 『東洋文庫所蔵 St. Petersburg ウイグル文字・ソグド文字・マニ文字写本マイクロフィルム仮目録』 (梅村坦・庄垣内正弘・吉田豊・ヤークブ=アブドゥリシド共著) 中央大学総合政策学部 169p.

2003 年

11. 『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究ーウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキストー』 京都大学大学院文学研究科(ユーラシア古語文献叢書 1) B5 判 374p.+77pls.

2008 年

12. 『ウイグル文アビダルマ論書の文献学的研究』 松香堂 B5 判 750p.+4pls. (2007 年度日本学術振興会研究成果公開促進費助成出版)

2014 年

13. *The Uighur Abhidharmakośabhāṣya preserved at the Museum of Ethnography in Stockholm*, Turcologica ~~XCIX~~99, Harrassowitz, Wiesbaden.

2015 年

14. *The Berlin Chinese Text U 5335 Written in Uighur Script: A Reconstruction of the Inherited Uighur Pronunciation of Chinese*. Berliner Turfantexte XXXIV, Brepols, Turnhout. (M. Shōgaito, S. Fujishiro, N. Ohsaki, M. Sugahara, A. Yakup 共著)

II 学術論文等

1966年

- a. 「「モンゴル・パンチャタントラ物語」解説」『朔風』3, 大阪外国語大学モンゴル語研究室, pp. 53-59.

1968年

- a. 「モンゴル語における逆態文を導く接尾辞の分化について」『朔風』4, 大阪外国語大学モンゴル語研究室, pp. 161-173.

1974年

- a. 「ウイグル語写本・大英博物館蔵 Or.8212(109)について」『東洋学報』56-1, pp. 044-057.

1975年

- a. 「竹内和夫著『トルコ語文法入門』」(書評)『季刊人類学』6-2, 京都大学人類学研究会, pp.224-227.

1976年

- a. 「ウイグル語写本・大英博物館蔵 Or.8212-108 について」『東洋学報』57-1/2, pp. 272(017)-254(035).

- b. 「ウイグル語写本・‘観音経相応’—観音経に関する‘avadāna’—」『東洋学報』58-1/2, pp. 258(01)-222(037).

→『ウイグル語・ウイグル語文献の研究 I —『観音経に相応しい三篇の Avadāna』及び『阿含経』について』

1978年

- a. 「古代ウイグル語におけるインド来源借用語彙の導入経路について」『アジア・アフリカ言語文化研究』15, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, pp. 79-110.

- b. 「クラウス・レールボーン著『ウイグル語辞典』」(書評)『窓』'78-12, ナウカ, pp. 58-59.

c. 「ウイグル語研究の現状」 『月刊言語』 7-7, 大修館書店, pp. 63-64.

1979 年

- a. 「中村不折氏旧蔵ウイグル語文書断片の研究」 『東洋学報』 61-1/2, pp. 254(01)-226(029)+4pls.
→ 『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究－ウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキスト』, pp. 261-309.
- b. 「『五体清文鑑』 18 世紀新ウイグル語の性格について」 『言語研究』 75, 日本言語学会, pp. 31-53.
- c. 「ソグド語文献について」 『月刊シルクロード』 '79-2/3, (株)シルクロード, pp. 30-33.

1980 年

- a. 「ウイグル語文献『阿含経』抜粋仏典について」 『神戸外大論叢』 31-1, pp. 1-22+9pls.
- b. 「ウイグル語仏典について」 『続シルクロードと仏教文化』 東洋哲学研究所, pp. 249-282.
- c. 「西田龍雄著『西夏文字』（玉川大学出版部）」（書評）『月刊シルクロード』 '80-4, p. 34.

1981 年

- a. “Ein uigurisches Fragment eines Beichttextes,” *Scholia, Beiträge zur Turkologie und Zentralasienkunde* (edited by K. Röhrborn & H. W. Brands), Otto Harrassowitz, Wiesbaden, pp. 163-168+1pl.
- b. 「ウイグル文『中阿含経』断片四葉について」 『神戸外大論叢』 32-1, pp. 87-105.
- c. 『日本語とアルタイ諸語』（翻訳）R. A.ミラー著、西田龍雄監訳（近藤達夫、庄垣内正弘、橋本勝、樋口康一訳）大修館書店.

1982 年

a. 「古代トルコ語 n 方言における i/i の低母音化について」『神戸外大論叢』33-3, pp. 39-57.

b. 「『畏兀兒館訳語』チュルク語の性格について」『神戸外大論叢』33-5, pp. 21-37.

1983 年

a. 「ヤクート語」『月刊言語』12-11, 大修館書店, pp. 80-86.

1984 年

a. 「『畏兀兒館訳語』の研究－明代ウイグル口語の再構－」『内陸アジア言語の研究』I, 神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 51-168+4pls.

b. 「シルクロード事典」<辞書のたのしみ>『月刊言語』13-1, 大修館書店, pp. 142-143.

c. 「ウイグル仏典について」『歴史公論』10-5, 雄山閣, pp. 43-51.

1985 年

a. 「十一世紀のチュルク語辞典」『月刊言語』14-6, 大修館書店, pp. 5-7.

1987 年

a. 「ウイグル文献に導入された漢語に関する研究」『内陸アジア言語の研究』II, 神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 17-156.

b. 「ヤクート」『月刊言語』16-10, 大修館書店, pp. 50-55.

1988 年

a. “Drei zum Avalokiteśvara-sūtra passende Avadānas,” *Der türkische Buddhismus in der japanischen Forschung* (edited by J. P. Laut & K. Röhrborn), Otto Harrassowitz, Wiesbaden, pp. 56-99+13pls.

b. 「ウイグル文『阿毘達磨順正理論』－大英図書館所蔵 Or.8212-75B から」『内陸アジア言語の研究』III, 神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 159-206+1pl.

→『古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究』II

- c. 「古代ウイグル語」『月刊言語』17-8, 大修館書店, p. 38.
- d. 「シルクロード事典」『事典の小百科』（紀田順一郎・千野栄一編），水声社, pp. 282-284.
- e. 「アルタイ語」pp. 524-528、f. 「ウイグル語」pp. 738-741、g. 「ウズベク語」pp. 829-833、h. 「カザフ語」pp. 1147-1151、i. 「カラガス語」pp. 1271-1273、j. 「カラカルパク語」pp. 1273-1276、k. 「キルギス語」pp. 1416-1422, 『言語学大辞典』1：世界言語編(上)（亀井孝・河野六郎・千野栄一編），三省堂.

1989年

- a. 「山田先生とウイグル文献研究」『人と人 山田信夫先生追悼文集』，山田信夫教授追悼記念事業会, pp. 335-336.
- b. 「中国のチュルク諸語」『月刊言語』18-7, 大修館書店, pp. 80-85.
- c. 「サラル語」pp. 94-98、c. 「サリグ・ヨグル語」pp. 98-102、d. 「シオル語」pp. 257-260、e. 「新ウイグル語」pp. 282-288、f. 「チュヴァシュ語」pp. 869-875、g. 「チュリム・チュルク語」pp. 934-937、h. 「チュルク諸語」pp. 937-950、i. 「トゥヴァ語」pp. 1222-1225, 『言語学大辞典』2：世界言語編(中)（亀井孝・河野六郎・千野栄一編），三省堂.

1990年

- a. 「モンゴル語仏典中のウイグル語仏教用語について」『東アジアの諸語と一般言語学』（崎山理・佐藤昭裕編），三省堂, pp. 157-174.

1991年

- a. “On Uighur Elements in Buddhist Mongolian Text,” *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 49, pp. 27-50.
- b. 「ウイグル文『阿毘達磨俱舍論実義疏』の性格について」『西南アジア研究』34, 西南アジア研究会, pp. 33-42.
→ 『ウイグル文アビダルマ論書の文献学的研究』, pp. 10-40. (3. は変更が大きい)
- c. 「キルギス語」『世界のことば』（朝日選書 435），朝日新聞社, pp. 178-179.

d. 「ウイグル語」『月刊言語』20-5, 大修館書店, pp. 36-37.

1992年

- a. 「ノガイ語」 pp. 46-48、b. 「ハカス語」 pp. 98-101, 『言語学大辞典』3: 世界言語編(下-1) (亀井孝・河野六郎・千野栄一編), 三省堂
- b. 「ヤクート語」 pp. 544-550, 『言語学大辞典』4: 世界言語編(下-2) (亀井孝・河野六郎・千野栄一編), 三省堂.

1993年

- a. 「ウイグル語」『世界のことば小事典』(柴田武編), 大修館書店, pp. 58-61.
- b. 「キルギス語」『世界のことば小事典』(柴田武編), 大修館書店, pp. 158-161.
- c. 「エイヌ語」『言語学大辞典』5: 補遺・言語名索引編 (亀井孝・河野六郎・千野栄一編), 三省堂, pp. 42-43.

1994年

- a. 「山田信夫著 小田壽典・P. ツィーメ・梅村坦・森安孝夫編『ウイグル文契約文書集成』」(書評)『東洋史研究』53-2, 東洋史研究会, pp. 139-148.

1995年

- a. 「ウイグル文字音写された漢語仏典断片についてーウイグル漢字音の研究ー」『言語学研究』14, 京都大学言語学研究会, pp. 65-153+9pls.
→『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究ーウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキストー』, pp. 2-29: 41-106.
- b. 「ウイグル文「菩薩修行道」ーPelliot Ouigour 4521 からー」『アジア言語論叢』, 神戸市外国語大学, pp. 33-74+20pls.
→『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究ーウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキストー』, pp. 311-347.
- c. 「ウイグル文「サダープラルディタ菩薩とダルモードガタ菩薩の物語」の内容構成について」『神戸外大論叢』(1)46-3, pp. 1-18, (2)46-5, pp. 1-12.
- d. 「シルクロード<古ウイグル>のことわざ」『世界ことわざ大事典』(柴田武・谷川俊太郎・矢川澄子編), 大修館書店, pp. 1112-1117.

1996 年

- a. “On the Contents of the Uighur Version of the Abhidharmakośabhāṣya-ṭīka Tattvārthā,”
Turfan, Khotan und Dunhuang (edited by R. E. Emmerick, W. Sundermann, I. Warnke & P. Zieme), Akademie Verlag GmbH, Berlin, pp. 293-306.
- b. 「漢字文化圏西端にも存在した漢文訓読」『月刊言語』25-8, 大修館書店, pp. 37-45.
- c. 「古代ウイグル語」『外国語学が分かる。』AERA Mook 14, 朝日新聞出版, pp. 110-113.

1997 年

- a. 「ウイグル文字音写された漢語仏典断片についてーウイグル漢字音の研究ー(続)」
『西南アジア研究』46, 西南アジア研究会, pp. 1-31+3pls.
→『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究ーウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典
テキストー』, pp. 2-26; 30-.
- b. 「突厥文字ー古代チュルク人世界に普及した文字ー」『月刊しにか』8-6, 大修
館書店, pp. 54-59.

1998 年

- a. “Three fragments of Uighur Āgama,” *Bahşi Ögdisi: Festschrift für Klaus Röhrborn
anlässlich seines 60. Geburtstags* (edited by M. Ölmez & J. P. Laut), Simurg, Freiburg/
Istanbul, pp. 363-378+4pls.
- b. 「羽田亨とウイグル語文献の研究」『古代文化』50-8, 財団法人古代学協会, pp.
49-54.

1999 年

- a. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 1 : 「増一阿含経」」『言語学研究』17-18,
京都大学言語学研究会, pp. 93-121+9pls.
→『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究ーウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典

テキスト』, pp. 225-253.

- b. “On the Ming Dynasty Central Asian Turkic Language Transcribed in the Chinese Character,” *Issues in Turkic Languages* (CSEL 1), Kyoto University, pp. 235-250.
- c. 「ウイグル人と漢字」『三蔵法師・玄奘のシルクロード“風土と足跡”』（シルクロード・奈良国際シンポジウム記録集 Vol.4）, (財)なら・シルクロード博記念国際交流財団 シルクロード研究センター, pp. 96-101. [英文: “The use of Chinese Characters in Uighur,” *The Silk Roads of Sanzo-hoshi Xuanzang ~The Climate and His Foot-Steps~* (The Silk Roads Nara International Symposium '97, Record No.4), pp. 73-79.]

2000 年

- a. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 2 : 『阿含経』 『千字文』 『阿毘達磨俱舍論実義疏』 (中国所蔵)」『京都大学言語学研究』19, 京都大学言語学研究室, pp. 147-191+ 6pls.
→ 『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究—ウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキスト』, pp. 214-225; pp. 116-125; pp. 253-260; 『ウイグル文アビダルマ論書の文献学的研究』, pp. 65-80.

2001 年

- a. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 3 : 1.ウイグル文『大乘法苑義林章』 2.ウイグル文字音写された漢文「礼懺文」 3.『天地八陽神呪経』の漢字「難字音注」とウイグル文「九悪業」」『京都大学言語学研究』20, 京都大学言語学研究室, pp. 243-277+5pls.
→ 『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究—ウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典テキスト』, pp. 144-154; pp. 30-40; pp. 107-115.
※「ウイグル文「九悪業」」は再録されていない

- b. “Four Uyghur fragments of Qian-zi-wen 'Thousand Character Essay',” *Turkic Languages* 5-1, Harrassowitz, Wiesbaden, pp. 1-28+4pls. (M. Shōgaito & A. Yakup 共著)
- c. “Uighur fragments of Nidāna-sūtra,” *Issues in Eurasian Languages* 1 (CSEL 3), Kyoto University, pp. 118-128.
→ 『ロシア所蔵ウイグル語文献の研究—ウイグル文字表記漢文とウイグル語仏典

テキスト』, pp. 207-212.

- d. 「ウイグル語における漢文訓読」『漢文古版本とその受容（訓読）』国際ワークショップ 2001年8月19～20日, 北海道大学(科学研究費特定研究(A)(2)東アジア出版文化の研究), pp. 142-165.
- e. 「ウイグル文字」 pp. 118-121、f. 「突厥文字」 pp. 671-675, 『言語学大辞典』別巻: 世界文字辞典(河野六郎・千野栄一・西田龍雄編), 三省堂

2002年

- a. “Fragments of Uighur Daśabala sūtra,” *Splitter aus der Gegend von Turfan: Festschrift für Peter Zieme anlässlich seines 60. Geburtstags* (edited by M. Ölmez & S.-CH. Raschmann), Şafak Matbaacılık, Istanbul/Berlin, pp. 291-297+6pls.
- b. 「中央ユーラシアの言語接触ーチュルク語の場合ー」『EX ORIENTE』6, 大阪外国語大学言語社会学会, pp. 1-50.
- c. 「板橋義三「アルタイ諸言語(含朝鮮語)と日本語」に対するコメント」『言語研究』121, 日本言語学会, pp. 112-121.

2003年

- a. “Uighur influence on Indian words in Mongolian Buddhist texts,” *Indien und Zentralasien Sprach- und Kulturkontakt, Vorträge des Göttinger Symposions vom 7. bis 10. Mai 2001* (edited by S. Bretfeld & J. Wilkens), Harrassowitz, Wiesbaden, pp. 119-143.
- b. 「文献研究と言語学ーウイグル語における漢字音の再構と漢文訓読の可能性ー」『言語研究』124, 日本言語学会, pp. 1-36.
- c. 「古文献言語の研究と職人」『知のたのしみ 学のよろこび』(京都大学文学部編) 岩波書店, pp. 124-129.

2004年

- a. “How were Chinese Characters read in Uighur?,” *Turfan Revisited —The First Century of Research into the Arts and Cultures of the Silk Road* (edited by D. Durkin-Meisterernst,

S.-C. Raschmann, J. Wilkens, M. Yaldiz & P. Zieme), Ditrich Reimer Verlag, Berlin, pp. 321-324.

- b. “Significance of Studying Endangered Languages from the Viewpoint of Studying Dead Languages,” *Lectures on Endangered Languages 5* (edited by O. Sakiyama & F. Endo), ELPR, pp. 85-93.
- c. 「言語からみた「古代ウイグル」の世界」『文学と言語に見る異文化意識』京都大学大学院文学研究科 21 世紀 COE プログラム, pp. 73-90.
- d. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 4 : 『千字文』(続編)『大乘法苑義林章』(続編)」『京都大学言語学研究』23, 京都大学言語学研究室, pp. 191- 209.
- e. 「ウイグル文入阿毘達磨論の注釈書断片」 *Approaches to Eurasian Linguistic Areas* (CSEL 7), Kobe City College of Nursing, pp. 271-295+6pls.
→ 『ウイグル文アビダルマ論書の文献學的研究』, pp. 81-85.
- f. 「ウイグル語訳『阿毘達磨俱舍論実義疏』断片 1 葉」 *Approaches to Eurasian Linguistic Areas* (CSEL 7), Kobe City College of Nursing, pp. 261-270.
→ 『ウイグル文アビダルマ論書の文献學的研究』, pp. 135-154.

2005 年

- a. 「ロシア所蔵ウイグル文「金剛般若経」断片一葉について」『日本学・敦煌学・漢文訓読の新展開』（石塚晴通教授退職記念会編），汲古書院, pp. 1154-1128((1)-(27)).
- b. “Uighur movable wooden type and its practicality,” *Turks and Non-Turks. Studies on the History of Linguistic and Cultural Contacts*, Studia Turcologica Cracoviensia 10, Jagiellonian University, Institute of Oriental Philology, Krakow, pp. 405-415.

2006 年

- a. 「ウイグル文『阿毘達磨俱舍論』注釈書の断片二葉」 *Philological Studies on Old Central Asian Manuscripts* (CSEL 10), Kyoto University, pp. 1-14+4pls.
→ 『ウイグル文アビダルマ論書の文献學的研究』, pp. 155-163.

2008 年

- a. “Uighur Abhidharmakośabhāṣya-tīkā Tattvārthā preserved in China,” *Aspects of research into Central Asian Buddhism* (edited by P. Zieme), Brepols, Turnhout, pp. 349-368.
- b. “Уйгурский фрагмент под шифром SI Kr.IV 260 из собрания Института восточных рукописей РАН,” *Письменные памятники востока*, т.8, Наука, Moscow, pp.177-186.

2009 年

- a. “The Fanwangjing 梵網經 (*Brahmajāla-sūtra*) —A Chinese text transcribed in the Uighur script—,” 『突厥語文学研究—耿世民教授八十華誕紀念文集—』 (張定京, 阿不都熱西堤亞庫甫編), 中央民族大学出版社, 北京, pp. 426-434.
- b. 「ロシア所蔵のウイグル文『入阿毘達磨論』注釋書斷片」 『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』 (CSEL 15), 九州大学人文科学研究院言語学研究室, pp. 91-128.

2010 年

- a. “A Chinese Āgama Text Written in Uighur Script and the Use of Chinese,” *Trans-Turkic Studies: Festschrift in Honour of Marcel Erdal* (edited by M. Kappler, M. Kirchner & P. Zieme), Pandora Kitabevi, Istanbul, pp. 67-77+1pl.

2011 年

- a. “Interlinear characters based on the phonological system of IUPC,” *Dynamics in Eurasian languages II —Studies on Languages in Multi-lingual Areas—* (CSEL 17), Kobe City College of Nursing, pp. 1-17.

2012 年

- a. “How deeply Inherited Uighur pronunciation of Chinese (IUPC) rooted in Uighur? —Two forms of the Chinese phonological system in Old Uighur,” *Proceedings of the 1st International Colloquium on Ancient Manuscripts and Literatures of the Minorities in China* (edited by J. Huang, H. Nie & L. Ma), Minzu Publishing House (民族出版社), Beijing, pp. 344-355.
- b. “Two fragments of Chinese *Mañjusrīnāmasaṃgīti* transcribed into Uighur script

—Дх-12114 and Дх-12082 preserved in St. Petersburg—,” *Тангуты в Центральной Азии: Сборник статей в честь 80-летия профессора Е.И.Кычанова* (edited by I. F. Porova), Восточная литература, Moscow, pp. 375-382.

2013 年

- a. “An Uighur fragment of the ‘Commentaries on *Abhidharmakośa-kārikā* (俱舍論頌疏),” *Yarmakan, Semih Tezcan’a Armağan: Abant İzzet Baysal Üniversitesi Sosyal Bilimler Enstitüsü Dergisi* 13, Bolu, pp. 341-352.

2014 年

- a. 「ウイグル漢字音と漢文訓読」『日韓漢文訓読研究』（藤本幸夫編），勉誠出版，pp. 249-286.

2018 年

- a. 「ストックホルム民族学博物館所蔵ウイグル文『入阿毘達磨論』注釋書斷片」*Diversity and Dynamics of Eurasian Languages: The 20th Commemorative Volume* (CSEL 20), The Consortium for the Studies of Eurasian Languages, pp. 1-68. (庄垣内正弘，菅原睦，大崎紀子，Abdurishid Yakup，藤代節共著)